

2023年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1 / 3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第1問 (1)～(10)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) この結果から、両者の方向性が 合致 していることがわかった。
- (2) 二つの結果には 有意 な差は認められなかった。
- (3) これらの結果は、来月学会誌に 掲載 されることになった。
- (4) 新しいコーパスを 用いて 自然言語調査を行うことにした。
- (5) この表現は 字義 通りに理解することが難しい。
- (6) この方法を使う 必然的 理由はあまりない。
- (7) 例外についても 考慮 して最終的な判断をすることにした。
- (8) 言語調査の分野では、コーパスの完成により多くの 恩恵 を受けた。
- (9) この研究方法が急速に 普及 している。
- (10) このコーパスの資料には 汎用性 があると言われている。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 今後は、研究成果について けんしょう を行う必要がある。
- (12) 辞書は言語の知識に関わる言語 しげん である。
- (13) ITの進化とともにテストのやり方も たようか している。
- (14) 今年は10万人 きぼ の調査を行う予定である。
- (15) この理論の てきよう 範囲がくわしく示された。
- (16) この結果になったことについて いんが 関係を調べている。
- (17) 「くる」のような たぎせい を持つ言葉に注目した。
- (18) この点は、この結果を生んだ こんきよ にはならないだろう。
- (19) この論文はさまざまな研究論文に いんよう されている。
- (20) 調査項目を作成する際に、大きな ししょう はなかった。

第3問 次の文の下線(21)～(25)に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

日本語教育が必要な児童生徒を (21) _____ さまざまな問題が生じているが、児童生徒によって事情が異なるため対応が難しくなっている。それぞれの家庭の事情やこれまでの言語学習、言語使用環境に (22) _____ 話を進めなければ、適切な対応はできない。この問題は一つの社会問題だと (23) _____、今後の対策に (24) _____ いく必要がある。少なくとも、各小中学校で行われた詳細な調査情報を (25) _____、どのような問題が現実に行き起きているかを把握すべきだと考えられる。

A. 手がかりにして B. 踏み込んで C. めぐって D. 捉えて E. 取り組んで

2023年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んであとの問(1)～問(4)に答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2023年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

問(1) 下線部A日本語と同様の傾向 とあるが、どのような傾向か。わかりやすく説明しなさい。

問(2) 下線部Bこうした動詞化 とあるが、どのようなことか。わかりやすく説明しなさい。

問(3) 空欄 に入る語句を考えて書きなさい。

問(4) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内で述べなさい。